

DANCE LIVE

先ず獣身を成して後に人心を養う

(福沢諭吉)

先に獣のようにたくましい精神・肉体を身につけること
その上で学問を通じて人としての見識と知識を広めるべし

2011年5月11日(水)

18:18 スタート

慶應義塾大学 日吉キャンパス

来往舎イベントテラス

入場無料・予約不要

新入生のためにこんなにまでしてやるイベントとはこれだ

芸術監督：黒沢美香

出演：黒沢美香 & ダンサーズ

「身体知」慶應学生ダンサーズ

慶應横浜カドベヤダンサーズ (カドベヤーズ)

fob (演奏)

岩佐妃真 (歌)

照明：曾我傑

音響：サエグサユキオ

写真/福井理文

挨拶

日本を代表するコンテンポラリーダンサー兼振付家であり本大学とも縁の深い黒沢美香氏を招聘し、黒沢氏および黒沢氏のカンパニーの公演を行います。黒沢氏は、1982年からの米国滞在時に、トリシャ・ブラウンをはじめとするジャドソン教会派のポスト・モダンダンスに衝撃を受け、帰国後、コンテンポラリーダンスのパイオニアと成り、わが国のダンス界を牽引してきました。今日は、ダンスの既存概念を脱臼させる一流の身体芸術をお見せし、人生に必要な創造的コミュニケーションの大切さを伝えます。

また、併せて、文科省大学教育推進プログラム「身体知教育を通して行う教養言語力育成」の一環として、黒沢氏が慶應義塾大学の授業「身体知」でワークショップを行った際に作ったダンス作品、および、慶應義塾大学横浜市拠点「カドベヤ」で学生や地域住民と一緒に作ったコミュニティダンスを披露します。「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃ損々」の心意気で一緒に踊ってください。キャンパス内での身体知教育の成果とともに身体芸術を用いた地域社会活性化の試みを体感していただきたいと思います。

東北関東大震災からちょうど2か月。まだまだ悲しみと数々の不安が私たちを覆っています。しかし、今夜は前向きに、そしてゆったりとこのユニークなイベントを、どうぞ最後まで一緒に楽しんでください。

企画責任者：武藤浩史（慶應義塾大学法学部教授）
横山千晶（慶應義塾大学法学部教授）



写真／のぎすみこ

黒沢美香：ダンサー・振付家

黒沢美香&ダンサーズ代表、ソロダンス「薔薇ノ人クラブ」代表の他に、“風間るり子”と“小石川道子”の別名で踊る。舞踊コンクールで1位を5度受賞の他、新人賞、優秀賞、舞踊批評家協会賞、日本ダンスフォーラム賞など受賞。海外公演と全国でワークショップ多数。横浜生まれ育ち。スタジオは綱島にある。

<http://www.k5.dion.ne.jp/~kurosawa/>



写真／福井理文

黒沢美香 & ダンサーズ

1985年活動開始。現在のダンサーズは多様な職種と特技を持つ舞踊群団。めくるめくダンスを目指して商店街から劇場までを大群舞で踊る。年齢差が40才も離れている者同士がいつも一緒に踊ることは世界でもめずらしく、その踊りは高級で猥雑。



「身体知」慶應学生ダンサーズ

文科省大学教育推進プログラム「身体知教育を通して行う教養言語力育成」の一環として、2010年に慶應義塾大学教養研究センターにより立ち上げられた正規授業「身体知」は、言語芸術の鑑賞・分析を朗読・ダンス・創作など種々の創造的体験と繋げて、頭と体を相互啓発的に鍛える人気の夏期集中講座です。黒沢美香も招聘講師として教えたこの講座を履修した学生有志が、慶應学生ダンサーズを結団しました。



慶應横浜カドベヤダンサーズ（カドベヤーズ）

慶應義塾大学がコトラボ合同会社と協同で運営しているオルタナティブ・スペースが「カドベヤ」。地元の寿地域や中区、南区の住民たち、地元で働いている人たち、そして学生たちを含め、あらゆるバックグラウンドの人々が自由に行き来して一緒に何かことを起こしている場所です。現在火曜日の夕方から「動く教室」を開催中。その中から飛び出したダンサーたちがカドベヤーズです。皆さんもぜひメンバーになってください。